

- 2月22日午前3時37分、増設雑固体廃棄物焼却建屋5階の廃棄物貯留ピットの火災報知器が動作し、監視カメラで現場付近を確認したところ、現場火元なしを確認していましたが、その後、水蒸気により現場確認ができなくなったため、同日午前5時58分に消防へ通報しています。火災報知器の作動によって停止していた排気設備の復旧は、2月22日午後4時8分より開始し、同日午後8時9分に復旧作業を終了しました。
- その後、廃棄物貯留ピットに滞留していた水蒸気の排気を継続的に実施しましたが、視認性が確保できる状況まで水蒸気の滞留が解消に至らなかったため、より安全を考慮し2月23日午前0時40分にピット内へ注水を開始しました。
- 2月24日午後2時47分、公設消防により「非火災」と判断されました。なお、廃棄物貯留ピット内に炎は確認されておらず、また、廃棄物貯留ピット近傍の温度に上昇は確認されておりません。
- その後、廃棄物貯留ピット上部の温度が低下したこと、ピット内の伐採木チップがほぼ水没していることから、2月25日午後2時03分に注水を停止しました。（合計注水量：約1,200m<sup>3</sup>）
- 水蒸気の滞留は減少傾向にあるものの、視認性が十分確保されていない状況であるため、今後も排気を継続するとともに、現場状況を確認しながら必要に応じて注水の実施等を検討してまいります。
- なお、作業員の被ばくや周辺モニタリングポスト等への影響は確認されておりません。

クレーン操作室からの様子



通常時

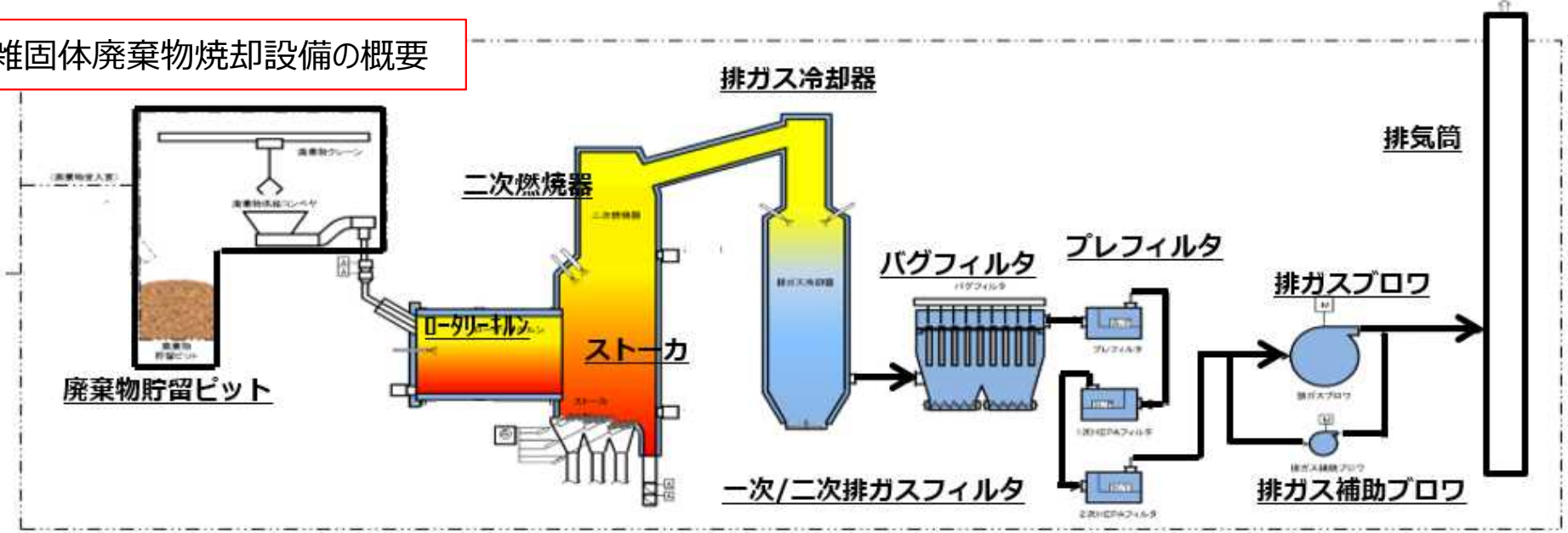
※窓ガラス内側の汚れで変色していると推定



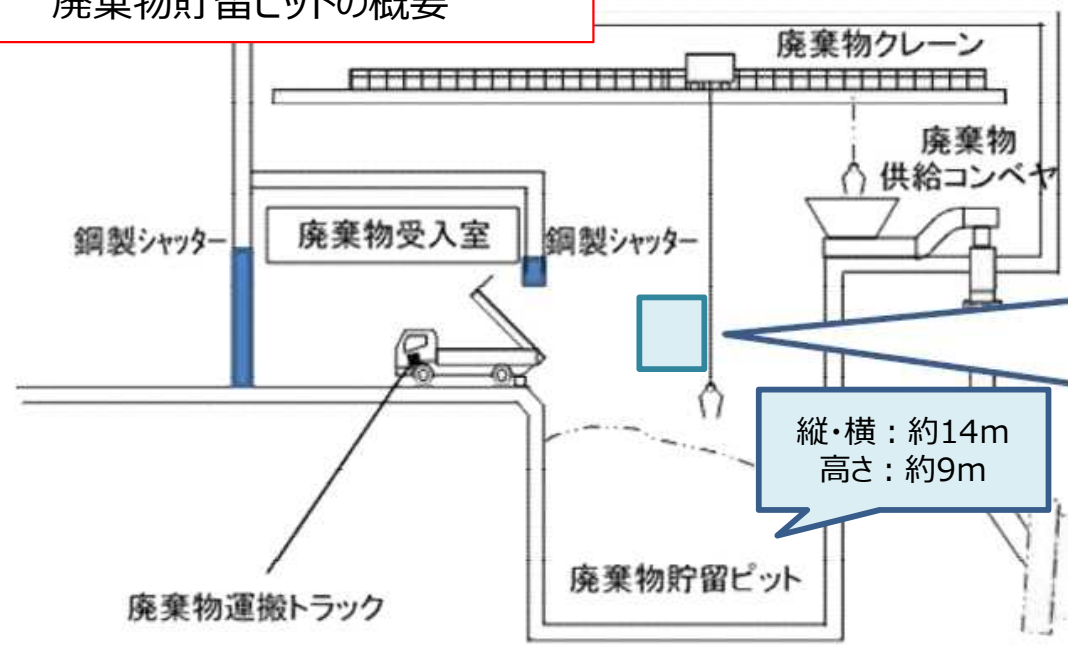
現在（2/26 午後1時頃撮影）

【参考】増設雑固体廃棄物焼却設備 廃棄物貯留ピットの配置

増設雑固体廃棄物焼却設備の概要



廃棄物貯留ピットの概要



クレーンの操作室

